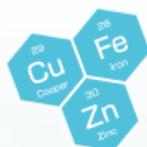




コーティング専門会社だから開発できた
 他社にはマネできない
抗菌・抗ウイルス・消臭コーティング剤
 次世代複合金属イオンアックス



環境の状態を整える。安心と安全の獲得こそが、本当の贅沢。



光触媒とancsの比較

光触媒が酸化チタンを成分としているのに対し、金属イオンを主成分とするancsは高い効果と安全性を保持しています。

	光触媒(A社)	ancs	優位性
成分	二酸化チタン	金属イオン (亜鉛・鉄・銅)	光触媒は紫外線または可視光LEDが必要、ancsは室内の光に左右されない
濃度	約0.2%	3%~10%	ancsは成分含有量が多いので濃い密度で噴霧可能
付着の仕方	表面に結合	表面内部に結合	ancsは内部に付着するので効果が持続
持続性	1年以下	2年以上	
デメリット	酸化チタンの有害性、菌以外の成分も殺す	過剰に散布すると青く変色	

1 抗ウィルス

不活化試験にて効果実証済み



新型コロナ
ウィルス

検査 / (株)食環境衛生研究所



ノロ
ウィルス

検査 / 食品分析センター



A型インフル
エンザ

検査 / 食品分析センター



鳥インフル
エンザ

検査 / (株)食環境衛生研究所

2 抗菌力

ルミテスターによる検証結果(トイレ個室ドア)



施工前：測定値20874

ancs施工後：測定値258

比較検証動画



<https://youtu.be/Fdp0qclcYog>

3 消臭

三大悪臭の消臭効果を立証済み

光触媒(A社)	消臭効果は銀イオンの含有量による
ancs	噴霧6時間後、三大悪臭のアンモニア・トリメチアルリン・硫化水素とイソ吉のすべてを検知せず

検査機関 / 食品分析センター

4 防カビ

黒カビにも高い効果を発揮

金属系成分は防カビ効果がないと言われる中、噴霧30日後も黒カビ検出されず



初期の黒カビ検体

30日後に検出なし

5 安全性

光触媒に比べ高い安全基準を確保

ancs	酸化チタンを一切含まず食品添加物・皮膚のパッチテスト・マウス携行毒性試験にて安全性を実証
------	--

※光触媒に含まれる酸化チタンの有害性について

フランスでは2020年から二酸化チタンを含む食品の市場投入を禁止。EUでは二酸化チタンがナノ粒子のため生態組織を通過しやすく、発がん性物質の可能性があると発表。